

2024 年度、2025 年度に地域・在宅看護学実習を履修した皆様

「看護学専攻学生における地域・在宅看護学実習の満足度と 訪問看護就業意向についての調査」について

はじめに

鳥取大学医学部保健学科看護学専攻の地域・在宅看護学実習では、実習を終了した学生の皆さんを対象に、実習満足度等と訪問看護就業意向についての調査を継続的に実施することになりました。つきましては、2024 年度、2025 年度に実習を終えた皆さんが回答してくださったアンケート情報を、本研究のデータに含めたいと考えています。

この研究は鳥取大学医学部倫理審査委員会の承認を経て、医学部長の承認を受けています。詳細は以下のとおりです。

1. 研究概要および利用目的・方法

日本の超高齢多死社会を背景に誰もが地域・在宅で自分らしく最期まで生ききることを支援する訪問看護へのニーズは今後更に高まると考えられています。訪問看護師数は漸増しているものの、今後もひきつづき訪問看護事業所への就業者を増やすためにはより強い対策が求められると考えます。訪問看護就業意向の基本となるのが、学部教育における訪問看護事業所での実習であることが明らかにされています。実際に訪問看護師になった人の声をきいても、学生時代の実習経験が訪問看護師になりたいと思うきっかけとなったという人が多いです。

本校の地域・在宅看護学ではこれまで新卒訪問看護師や訪問看護師志向を高めるために、新卒や若手の訪問看護師を講義の講師として招聘することで、訪問看護も就職の選択肢となるよう努めてきました。また 4 年次の統合実習では、訪問看護実践能力を高める実習、学生によるまちの保健室の実施など、地域で働くことを想定した実習に力を入れてきました。そして、本校卒業生のうち、新卒訪問看護師として就業した人は 4 名（うち、現在も訪問看護師を継続している人は 1 名）、病院勤務を経て訪問看護へ移行した看護師は 20 名以上確認しています。そこで本研究では、看護学専攻 3 年次の地域・在宅看護学実習終了時に、訪問看護への就業意向、それに影響を与えた実習中の経験について調査したいと思います。また、実習満足度や目標達成度についても調査し、就業意向との関連を明らかにします。この調査に基づいて可能な学習支援を講義や実習に取り入れていきます。また本調査は毎年実施し、学生の訪問看護への就業意向の経年的変化を把握し、就業意向が落ち込まないよう授業設計を変更していきたいと考えています。

本研究で得られるすべての情報は、鳥取大学医学部保健学科地域・精神看護学講座の仁科

が集計します。なお、情報は、研究責任者（仁科）が責任を持って保管、管理します。

本研究の対象となる学生の皆さんは、他の研究対象者への個人情報保護や本研究の独創性の確保に支障がない範囲で、研究計画書及び研究の方法についての資料を入手又は閲覧することができます。希望される方は、遠慮なく問合せ窓口にお申し出ください。

2. 取り扱う情報

2024 年度、2025 年度の地域・在宅看護学実習終了時に実施したアンケート調査のうち、次の調査内容です。

1. あなたの実習目標到達度はどの程度ですか
（5 段階評価）

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

2. あなたの実習満足度はどの程度ですか
（5 段階評価）

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

3. 将来訪問看護師になりたいですか。
（5 段階評価）

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

4. 地域・在宅看護学実習をより有意義なものとするためにはどうすればよいと思いますか。意見を願います。

--

3. 研究期間

この研究は、鳥取大学医学部長が研究の実施を許可した日から 2036 年 3 月 31 日まで行う予定です。

4. 個人情報保護の方法

アンケート結果は既に電子データに変換・保管されており、個人名とは切り離されているため、個人が特定されることはありません。また、アンケート情報は、本研究目的以外で使用されることはありません。皆さんの個人情報の管理については十分に注意を払います。

5. 研究への情報提供による利益・不利益

利 益・・・この研究にご協力いただいた学生の皆さん個人には、特に利益と考えられるようなことはございませんが、研究の成果は、今後、よりよい地域・在宅看護学実習となるよう、教育改善に役立てます。なお、情報を使用させていただいた学生さんへの謝礼等はありません。

不利益・・・すでに提供していただいた情報を使用させていただくため、特にありません。

6. この研究終了後の情報の取り扱いについて

情報は、当該研究の終了について報告された日から 5 年を経過した日又は当該研究の結果の最終の公表について報告された日から 3 年を経過した日のいずれか遅い日までの期間保存します。保存期間終了後は、全ての情報を適切に廃棄します。

7. 研究への情報使用の取り止めについて

本研究で用いるアンケート調査への回答の内容は、既に個人を特定できない状態で電子化されています。そのため個別に削除することができませんので、ご了承ください。

8. 当該臨床研究に係る資金源について

本研究は、鳥取大学医学部保健学科地域・精神看護学講座の研究費で行っており、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

9. 研究成果の公表について

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、学生さん個人が特定されることは決してありません。

10. 知的財産権の帰属について

本研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は鳥取大学に帰属し、あなたには帰属しません。

11. 問い合わせ窓口

本研究についてのご質問、ご意見、その他知りたいことなど、この研究に関することは、下記の窓口までお問い合わせ下さい。

【研究責任者】

仁科 祐子 鳥取大学医学部保健学科 地域・精神看護学講座 教授
〒683-8503 鳥取県米子市西町 86
TEL：0859-38-6332／FAX：0859-38-6330

＊この研究に関する情報は、鳥取大学医学部附属病院のホームページに掲載しております。

(<https://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/departments/center/amirt/3294/>)